

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 9. 19

下水道機構の『新技術情報』 第300号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

台風一過の連休明け。台風被害の対応に当たられた下水道関係者の方も多数いらし
やっただかと思ひます。大変お疲れ様でした。

さて、おかげさまでメルマガは今号で第300号を迎えました！第1号が懐かしい
です♪メルマガのバックナンバーを読み返してみました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/mail-magazine>

ゆいまーるのバックナンバーもありますよ♪

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第300号をお届けします。

今後ともご愛読のほどよろしくお祈ひします(^_^)

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・9月の技術サロンは、当機構 技術評価部長の宮入篤より、「ドイツにおける更生工
法（本管）の品質管理と取付管のマネジメント」をテーマに開催しました

■機構の動き

・今週は、行事はありません

■Tea Break

・夏の想い出（企画部 Mr.G さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる

・本日のゆいまーるは、日立・高萩広域下水道組合様より「津波を想定した代替拠点
設置等のBCP訓練」についてのご投稿いただきました！

■国からの情報

・9/15付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション（最新の話題です）

●9月の技術サロンは、当機構 技術評価部長の宮入篤より、「ドイツにおける更生工法（本管）の品質管理と取付管のマネジメント」をテーマに開催しました。

宮入部長は、日本下水道事業団にて、下水道の計画、処理場の設計・施工管理、技術開発、設計基準類の作成等の業務を担当され、平成26年度から下水道機構に在籍、技術評価部で審査証明の業務に従事しております。

講演内容は、更生工法等の先進国であるドイツにおける、更生工法の施工を含めた品質管理と取付管全般に関する実態についての調査報告でした。

更生工法の品質は、ドイツ建設技術機構（DIBt）、カナルbau、IKTの3つの中立機関によって管理され、DIBtは工法の承認、カナルbauは施工業者に対する施工品質の管理、IKTは構築された更生管きよの品質管理の役割を、それぞれ担っているそうです。またドイツでは、IKTによるサンプリング試験の結果、試料が基準を満たしていない場合、設計上の安全率を考慮に入れた上で、自治体によって異なりますが、契約金額に対して減額（10%、20%）、瑕疵担保期間の延長、再施工、いずれかの措置が取られるということで、日本の制度と大きな違いがあります。

また取付管の実態については、住民等の汚水発生源者を管理者とする自治体が多く、その場合は、点検を住民が中々行わないことから、市が修繕や更新を行って、その費用は住民負担ということになる場合があるとのこと。取付管についても更生工法が採用されており、本管とほぼ同様の品質の管理が行われているそうです。本管、取付管の品質管理や維持管理等について、日本とは異なるドイツの現状が紹介され、今後の基準化等に参考となる報告でした。

さて、次回の技術サロンは10月12日（木）16:00から17:00での開催となります。講師には川崎市上下水道局下水道部計画課の岩淵担当課長をお招きし、「アセットマネジメント情報システムを活用した川崎市下水道の事業運営」と題してご講演いただきます。

皆さんの事業の参考になることと思います。多数のご参加をお待ちしております！
※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

○行 事：平成29年度建設技術審査証明事業（下水道技術）交付式

場 所：機構 理事長室

日 時：平成29年9月25日（月） 13:30～ 20分程度

交付技術（変更技術2件）：

SPR工法（下水道管きよの更生工法－製管工法－）

エポフィット工法（下水道管きよの更生工法－反転工法－および取付管の修繕工法）

。○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○。

●夏の思い出（企画部 Mr.G さんからの投稿です）

お盆が明けた頃、少し遅い夏休みをいただき岩手へドライブに行ってきました。同じようにドライブが趣味の仲間と年数回ドライブに出かけているのですが、そのメンバーの一人が今年還暦を迎えるので記念になる旅行にしようと考え、かねてより皆で憧れていた“八幡平アスピーテライン”という、十和田八幡平国立公園にある有名な観光道路に行くことになりました。

東京から距離にして片道およそ 640 km の道程です。標高およそ 1600m の山々の山頂付近を尾根沿いに縦断する道路は眺めがよく、愛車のエンジンと排気音を聞きながら心地よくカーブを曲がり加速していく・・・最高の時間でした。

宿泊先で知り合った方とのやり取り。

「どちらから来られたのですか？」

「東京です」

「新幹線ですか？」

「いえ、車です」

「5 人ですよ？大きな車なんですね」

「いえ、一人一台、自分の車で来ました」

「(°。°)」

5 人で車 5 台、みんな運転手で岩手まで。新幹線よりお金も時間も労力もかかる方法ですから、呆れられるのも当然です。でも、一度は走ってみたい！と憧れていた道を自分の車で走った爽快感は、何にも代え難い最高の思い出となりました。

因みに道中から調子を崩した我が愛車は、帰ったとたん故障し入院することに。年代物の車は辛いです。

皆さんも、こんなこと滅多にできないということ、たまにはやってみてはいかがでしょうか？

。○。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です）

。○。

●本日のゆいまーるは、日立・高萩広域下水道組合様より「津波を想定した代替拠点設置等の BCP 訓練」についてのご投稿いただきました！

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-9-19>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.9.15付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂園洋昭

=====

先週から財務省への概算要求の説明が始まりました。要求内容は、先日のホットインフォメーションでご紹介したとおりですが、事業の内容、必要性等について説明、議論を行っています。今年は、5月の財務省財政制度等審議会（財政審）で、下水道事業について指摘をうけたことをうけ、それらについても議論の対象になっています。

例年、財務省では、予算編成に向け10月前後に秋の財政審を開催しています。

今後、どのようになるかわかりませんが、関係者の皆様には注視いただければと思います。5月の財政審の資料等については、以下のアドレスからご覧になれます。また、これに関連して、日本下水道協会が行った平成29年度提言活動の概要が、下水道協会誌9月号に掲載されていまして、概略を把握したい方はご覧になられてはと思います。

http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/material/zaiseia290510.html

資料3、p15～17

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 微生物カードで、下水道事業をPRします！（京都市）
- 津波を想定した代替拠点設置等のBCP訓練を実施しました（日立・高萩広域下水道組合）
- 「下水道管更生技術施工展 2017 青森」のご案内（（公社）日本下水道管路管理業協会）

=====

- 微生物カードで、下水道事業をPRします！（京都市）

京都市の下水道事業を担う若手職員で形成される「下水道事業PRプロジェクトチーム」が、微生物カードを作りました！カードの大きさは、縦9センチ、横6センチで、下水処理に使う微生物約200種類の中から6種類を選んで作成しました。動く速さを「スピード」、顕微鏡での見つけやすさを「レア度」で表す等、子供たちが親しみやすいデザインになっており、下水道施設見学会や、下水道の日（9月10日）の街頭キャンペーン等、下水道事業のPRイベントに合わせて配布しています。また、

下水道の日に合わせて、下水道事業 PR プロジェクトチームのホームページを開設しましたので、合わせてご覧ください。

新聞記事

<http://www.kyoto-np.co.jp/sightseeing/article/20170911000179>

下水道事業 PR プロジェクト ホームページ

<http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/page/0000223480.html>

○津波を想定した代替拠点設置等の BCP 訓練を実施しました（日立・高萩広域下水道組合）

日立・高萩広域下水道組合（伊師浄化センター）は、茨城県日立市北部の海拔約 3 m に位置し、津波浸水想定区域となっていることから、太平洋でマグニチュード 9 クラスの大きな地震が発生すると 9 分後には約 8.6 m の津波が到達すると予想されています。

そこで、9 月 8 日に下水道 BCP に基づき、大津波警報により庁舎（浄化センター）が使用不能となることを想定し、津波避難訓練とともに海拔 29 m の代替拠点に災害本部を設けるという初の初期対応訓練を行いました。

職員は地震発災と同時に来客者らを迅速に退避させ、大津波警報が発令されると約 2 km 先の市民広場へ管理委託業者とともに避難をし、管理職員はさらに約 1.6 km 離れた代替拠点である日立市役所十王支所に移動して災害対策本部を設置しました。

災害対策本部では、避難状況の報告と予め配備をしておいた緊急連絡網や処理場施設及び主要な管路施設図面等を使い、情報伝達や応援要請、更には所管施設の点検・調査開始指示等の初期対応訓練を行いました。

なお、地震により広範囲に下水道が使えなくなったことを想定し、代替拠点駐車場においてマンホールトイレの設置訓練を併せて行いました。

○「下水道管更生技術施工展 2017 青森」のご案内（(公社)日本下水道管路管理業協会）

本展示会は、最新の各種下水道管路更生工法及びその他管路管理技術・製品を一堂に集め、デモンストレーションを行う展示会です。17 回目となる今回は、青森市において下記のとおり開催します。

・日 時：平成 29 年 10 月 5 日（木）午前 9 時 30 分～午後 4 時

（入場受付は午後 3 時 30 分まで）

・会 場：青い森セントラルパーク自由運動広場

（青森市浦町字橋本 335-17） 駐車場有

・出展数：40 社・団体

・出展内容：管きよ更生・修繕改築技術、コンクリート防食被覆の修繕改築技術

マンホール修繕改築技術、管内清掃技術、点検・調査・診断・解析等の

技術、安全衛生管理技術、耐震化技術

・講演会：12時30分～12時50分『マネジメント時代の下水道事業』

国土交通省水管理・国土保全局下水道部長 森岡 泰裕 様

12時50分～13時10分

『青森県における下水道管路のストックマネジメント計画策定の現状』

青森県県土整備部都市計画課

下水道グループマネージャー総括主幹 小山内 文敏 様

13時10分～13時30分

『青森市における下水道管路の点検調査計画及び改築更新計画の考え方』

青森市環境部下水道整備課主査 木村 拓司 様

・入場料：無料

詳細については以下のリンク先をご参照ください。

<http://www.jascoma.com/event/year/2017/20171005.html>

=====

【参考情報】

◆下水道の日前にマンホールカード <9/9 NHK NEWS WEB>

<http://www3.nhk.or.jp/lnews/yokohama/20170909/1050000002.html>

◆かつて臭いもののふた 今は地域の宝 <9/8 NHK NEWS WEB>

http://www3.nhk.or.jp/news/html/20170908/k10011132351000.html?utm_int=netnewsup_contents_list-items_002

◆特殊詐欺フタせよ 池田署 マンホールシール <9/9 YOMIURI ONLINE>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/osaka/news/20170908-0YTNT50309.html>

◆「泳げるセーヌ」復活を 水泳競技予定で <9/14 毎日新聞>

<https://mainichi.jp/sportsspecial/articles/20170914/k00/00e/050/256000c>

◆「下水道への接続を」石垣市 <9/9 八重山毎日新聞>

<http://www.y-mainichi.co.jp/news/32218/>

◆探せ!! ガルパンマンホール <9/9 茨城新聞クロスアイ>

http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=15048882472735

◆アツイマンホール蓋 カード求めて全国へ <9/7 YOMIURI ONLINE>

<http://www.yomiuri.co.jp/chubu/news/20170907-0YTNT50038.html>

◆豊橋市バイオマス利活用センター 10月1日に本格稼働 <9/2 東愛知新聞>

<http://www.higashiaichi.co.jp/news/detail/1587>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニュースレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>